

2024年10月 現在

Fujitsu Software

Interstage Business Application Server Enterprise Edition V13a (V13.1.0)

本商品は、ミッションクリティカルな業務システムを構築するための基盤製品です。業務システムの安定性、安全性、柔軟性を実現します。

アプリケーションの処理状況を記録する堅牢性の高いログ機能や、ミッションクリティカルなアプリケーションの開発を効率化する機能を提供しており、Java/C/COBOLによる業務システムのシステム構築が可能です。

- **サーバ運用時**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **開発時**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **クライアント運用時**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **サーバ運用時**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **開発時**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **クライアント運用時**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

1. 業務システムの短期構築

ミッションクリティカルな業務システムの短期構築を実現する機能を提供しています。

〔マルチ言語のサポート〕

Java/C/COBOLでミッションクリティカルなシステム構築が可能です。これにより、Java/C/COBOLでミッションクリティカルなシステム構築の生産性向上が図れます。また、Java/C/COBOLの既存資産の有効活用が可能となります。

〔オープンJavaフレームワークのサポート〕

最新のオープンJavaフレームワーク(Struts, Spring Framework, MyBatis)に、基幹システム構築に必要な機能と標準技術を融合し、ミッションクリティカル業務システムの構築と安定稼働を実現します。

〔実行制御ロジックのカスタマイズ機能〕

実行制御ロジックをシステムの要件にあわせてカスタマイズすることにより、業務ロジックの独立性を高め、より柔軟なシステム構成に対応します。

〔アプリケーション連携実行基盤機能〕

高い信頼性および高い品質が要求されるCOBOLとC言語の制御ロジックを、“同期アプリケーション連携実行基盤”として提供しています。業務アプリケーションを効率よく開発するために業務ロジックの開発作法を規定しています。

また、制御ロジックと業務ロジックを分離して開発し、複数アプリケーションを連携するための機能やメッセージの整合性を保証するための制御ロジックを実行環境として提供することで、アプリケーションの生産性を向上し、信頼性のあるシステムを短期に開発することができます。

2. 安定稼働

業務の異常等に対応し、業務の安定稼働を実現する機能を提供します。

〔モニタリング〕

業務アプリケーションの処理遅延などを早期に検出し、業務アプリケーションを自動的に実行する機能を提供します。これにより、高負荷時などの業務停止や業務遅延を回避することができます。

〔性能情報の収集・監視・分析〕

セッション単位に、システムログ、通信ログ、性能ログを採取します。各種ログは、Systemwalker Service Quality Coordinatorにより収集、性能監視、分析が可能となります。これにより、業務の性能分析を行うことができます。

3. データ保全

業務の異常等に対し、データの整合性や安全性を保証する機能を提供します。

〔高信頼性ログ〕

課金や障害発生時のデータ追跡などの目的のために、アプリケーションの処理状況（高信頼性ログ）を記録できるようなAPIを提供します。アプリケーションでは、当APIを使用することで、高信頼性ログの確実な書き込みが行えます。また、アプリケーションがデータベースに対して書き込みを行う場合には、高信頼性ログとの一貫性の保証を行います。記憶した高信頼性ログのデータについては、各種のツールで分析などを行うことができます。

〔データベース連携制御機能〕

トランザクションを制御する機能やコネクションを制御する機能（コネクションプーリング、事前コネクション、コネクション再接続、コネクション自動回収）を提供します。業務アプリケーション開発者はコネクション制御やトランザクション制御を意識することなく、業務ロジックに専念して開発できます。そのため、信頼性の高いデータベース処理を効率的に開発・運用できます。

4. アプリケーション開発の効率化

標準技術を用いてJavaアプリケーションを開発するためのオープンJavaフレームワーク(Struts, Spring Framework, MyBatis)を提供します。

ミッションクリティカルなアプリケーションの開発を効率化する機能Apcoordinatorを提供します。

〔Webアプリケーションの構築支援〕

(1) 共通JSPインタフェース(Unified Jsp Interface)

画面内のアプリケーション記述は共通JSPインタフェースによりタグ形式で記述します。タグ形式で記述することにより本商品の機能を利用する記述が簡単になり、アプリケーションの保守を容易にします。

(2) コンポーネントタグ

コンポーネントタグでは表、ツリー、リストといった形式の画面を動的に構成する機能を提供します。

(3) セッション管理

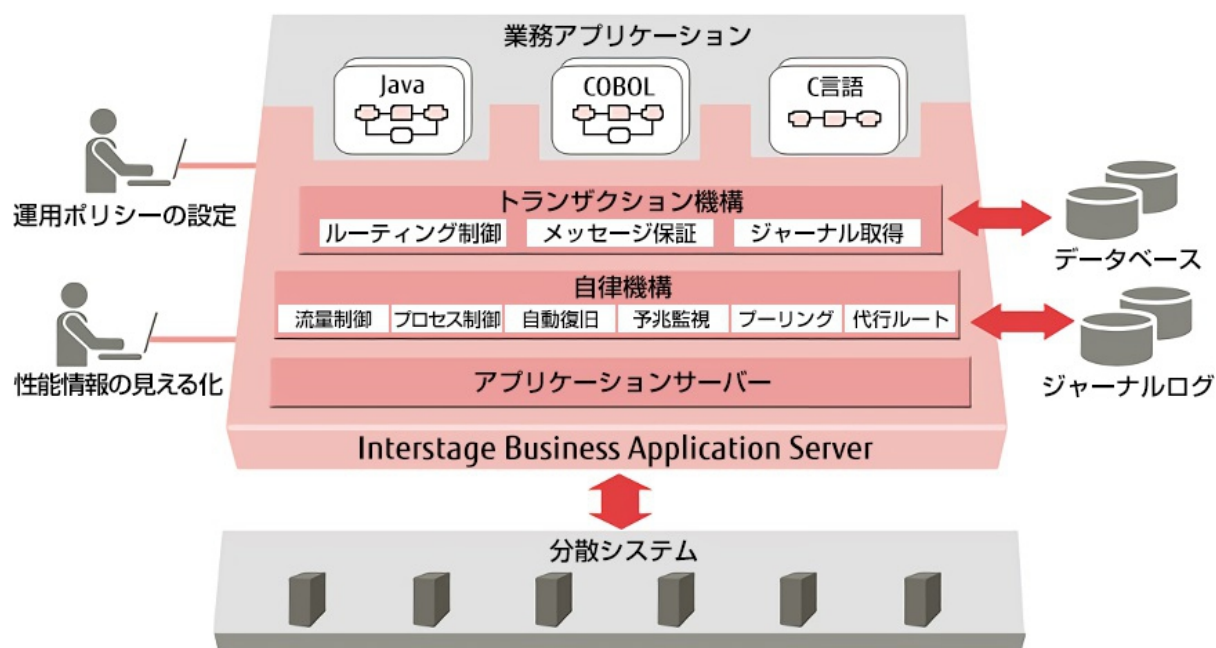
アプリケーションのセッション管理を行うクラスを提供しており、必要に応じて処理を加えることが可能となります。

〔EJBのアプリケーションの構築支援〕

EJBセッションBeanによるアプリケーションの作成を支援する機能を提供します。本機能を用いることで、EJBアプリケーションをWebアプリケーションの開発と同様の手順で開発することが可能となります。また、当該機能を利用したアプリケーションの制御ロジックのコーディング量を削減し、処理記述の標準化を実現します。

5. アプリケーションサーバ機能の提供

本商品のアプリケーションサーバ機能として、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0を同梱しています。Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0は、Jakarta EE 8、OpenJDK 8、Apache 2.4、CORBAに対応した、デジタルビジネス環境にすばやく適応する高信頼・高性能なアプリケーションサーバです。Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0の詳細については、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。



V13.0.0からV13.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. オープンJavaフレームワークの強化

オープンJavaフレームワークに含まれるSpring Frameworkのバージョンを5.3.27に更新します。これにより、基幹システム構築に必要な機能と標準技術を融合し、ミッションクリティカル業務システムの構築と安定稼動を実現します

2. オートスケールのサポート

オープンJavaフレームワーク(Spring Framework)で、クラウドのオートスケールをサポートします。

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ Interstage Business Application Server オンラインマニュアル

【メディア】

- ・ Interstage Business Application Server Enterprise Edition メディアパック(64bit) V13a (V13.1.0)

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage Business Application Server Enterprise Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage Business Application Server Enterprise Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S) 7年

【永続ライセンス】

- ・ Interstage Business Application Server Enterprise Edition プロセッサライセンス(1年間24時間サポート付) V13a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(DVD)のみの提供です。使用权は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。

また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

3. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

4. クライアントソフトウェアについて

Interstage Business Application Server V13a クライアントソフトウェアは、複数台のクライアントにインストールすることができます。

5. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

6. V7.0以降からのバージョンアップについて

Interstage Application Framework Suite Standard Edition V7.0およびInterstage BusinessApplication Server Standard Edition V8以降をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。また、32ビット商品からの切り替えも可能です。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

7. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SE にお問い合わせください。

8. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

- (1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書記載の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) Symfoware/RDBの使用について

お客様は、対象プログラムに含まれる機能の一部であるSymfoware/RDBを、お客様がInterstage Business Application Serverをサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書の定めに従って使用する目的でのみ、使用できます。それ以外の目的では使用できません。

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(4) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第5項「共通事項」第(5)号「保証の範囲」の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第5項「共通事項」第(5)号「保証の範囲」a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

(5) 改造について

お客様は、本製品等のうち対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたプログラムについては、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号の(j)、またはライセンス条件説明書記載の第5項「共通事項」第(4)号「改造」の定めにかかわらず、本製品等とともに使用するOSSに適用された「GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1」および「GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2」により許諾される範囲に限り、改造とリバースエンジニアリングを行えるものとします。

1. アプリケーションを開発する場合

[アプリケーションサーバ機能のみ使用時]

Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0の関連ソフトに準拠します。詳細は、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。

[アプリケーション連携実行基盤の使用時(*1)]

- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ(64bit) V12以降(*2)

(*1) アプリケーション連携実行基盤 (機能一覧の柔軟なシステム拡張/連携、安定稼働、データ保全の機能)の使用時

(*2) COBOL実行基盤インタフェース生成ツール使用時、およびCOBOLで作成されたアプリケーションの翻訳時に必要です。

2. アプリケーション連携実行基盤を使用する場合

[COBOLで作成されたサーバアプリケーションとの連携時]

- ・NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ(64bit) V12以降

3. 連携可能なデータベース

[アプリケーションサーバ機能のみ使用時]

Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0の関連ソフトに準拠します。詳細は、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。

[アプリケーション連携実行基盤の使用時]

- ・Symfoware Server Enterprise Edition (Nativeインタフェース) V12
- ・Oracle Database Enterprise Edition 19

[オープンJavaフレームワークの使用時]

- ・Oracle Database(*1)
- ・Symfoware Server(Postgres)(*1)

(*1) データベースのバージョンについては、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。

アプリケーションサーバ機能の動作保証周辺機器については、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。

アプリケーションサーバ機能以外の機能についての動作保証周辺機器の情報はありません。

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS 上で、64 ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

2. クライアントについて

[Apcoordinatorの使用時]

クライアントでは、HTML4.0対応のWebブラウザが使用可能です。Webブラウザは以下を使用してください。

- ・ Microsoft Edge(IEモード) (注)

注) デスクトップ用Microsoft Edge(IEモード)での利用が可能です。

3. Java実行環境

本商品では、以下のOpenJDKを同梱しています。Javaアプリケーションを実行する場合は、本商品に同梱しているOpenJDKを使用してください。

- ・ OpenJDK 8

4. 他商品との組み合わせについて

[排他ソフトウェアについて]

本商品の排他ソフトウェアに関する情報は、マニュアルの「インストールガイド」をご覧ください。

マニュアルについては、「関連 URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（マニュアル）」を参照してください。

5. Interstage Application Serverについて

本商品には、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0が同梱されているため、同商品を購入する必要はありません。

Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0の留意事項については、Interstage Application Server Enterprise Edition V13.1.0のソフトウェアガイドをご参照ください。

6. 32bit版のメディアパックについて

V12から32bit版のメディアパックの提供はありません。

7. V12との差異について

(1) 以下OSは動作OS対象外となりました。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 6
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012R2
- ・ Windows 8.1(32bit)
- ・ Windows 10(32bit)

(2) Interstage Studioは同梱していません。

(3) 非同期アプリケーション連携実行基盤機能がサポート対象外となりました。

8. 前版(V13.0.0)との差異について

(1) 以下OSは動作OS対象外となりました。

- ・ Windows 8.1(64bit)

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Interstage Business Application Server）**

本商品の詳細は、以下のInterstage Business Application Serverホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/bapserver/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（マニュアル）**

富士通のソフトウェア製品に添付されているマニュアルが閲覧できます。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/manual/>